

「今週の1枚」



ノリウツギ（ユキノシタ科）

九州から北海道まで広く分布し、皆伐跡地、林道の法面、崩壊地などに良く見られる。やせ地や硫気荒原の周辺など他の植物が生育しにくい場所を好む。夏に白い花が良く目立つ。オシベ、メシベの揃った小さな両性花の周りに装飾花をつけるので、アジサイの仲間であることはすぐに判る。ウツギという呼び方は「うつろ（中空）」な茎を持った様々な種類の樹木に当てられている。内樹皮にある粘液を和紙を作るときの糊として使用したことから、ノリウツギの名が付いた。ただし、土佐和紙の製造法ではトロロアオイが使用され、ノリウツギは使われていない。
（埴田）

（No.12 2001.8.20 掲載）